

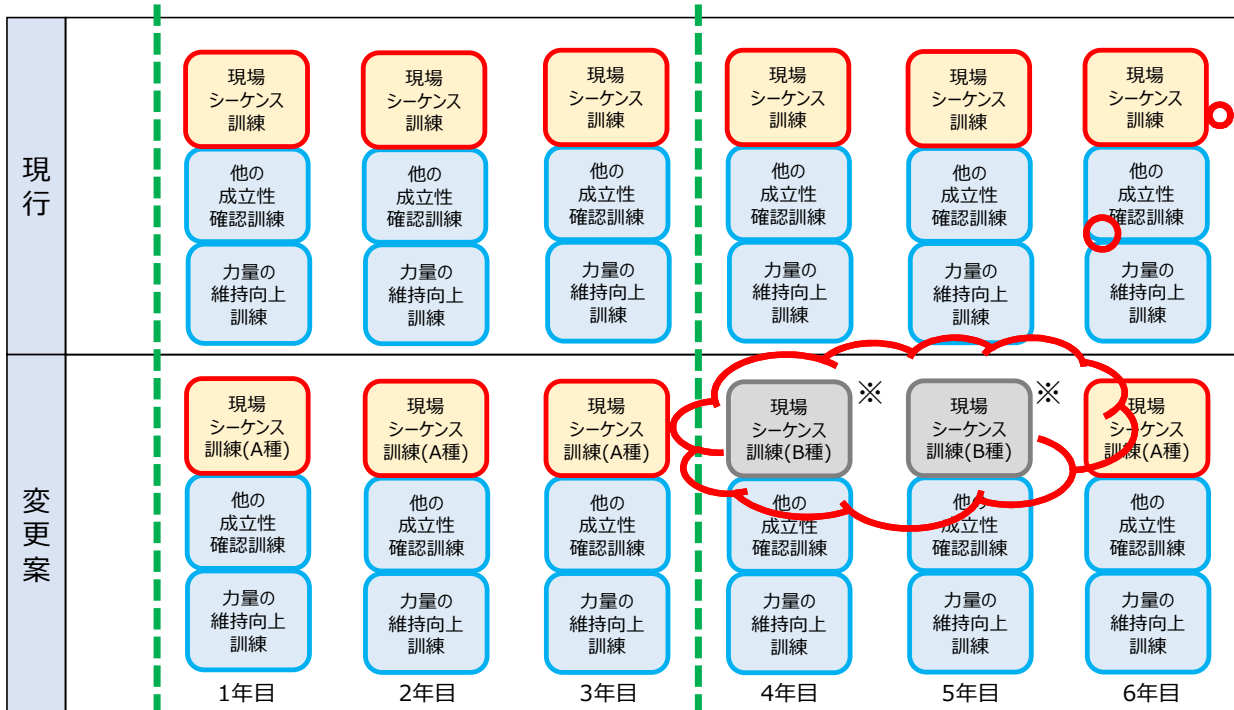
防災＋シーケンス訓練（B種） 訓練試行の実施について

2023年12月13日



- 「原子力事業者の緊急時対応に係る訓練及び規制の関与のあり方に係る意見交換（2022.2～継続中）」における議論を踏まえ、「能力向上に資する訓練」として、検討を継続している。
- 本検討テーマの一つとして、保安規定に基づき、成立性確認として毎年実施しているシーケンス訓練の実施頻度を低減（例：1回/1年→1回/3年）した上で、余裕を確保したリソースを活用して「能力向上に資する訓練（2回/3年）」を実施する。

訓練全体のイメージ



SAに係る
保安規定施行

← 習熟期間の3年間で問題なし →

□ : 日常検査対象

※現場シーケンス訓練(B種)の規制検査の位置づけはNRA殿検討事項

現場シーケンス訓練(B種)

- a. 成立性確認訓練とはせず、現行の現場シーケンス訓練のシナリオに限定せず多様なシナリオ・手順を設定し、新たな気づきを得ることに主眼を置く訓練とする。
- b. 本訓練の計画において、中期計画に基づき訓練の目標(どのような重点項目での気づきを得るか)を定め、その目標に基づき、以下の事項を任意に設定する。
 - ・現場実動の範囲(実動/模擬/訓練範囲外)
 - ・本部との連携規模(実動/模擬/訓練範囲外)
 - ・シナリオ、手順、マルファンクション
 - ・事業者防災訓練(本部運営訓練)との連動の有無

2023年度試行(大飯)

- ① 事業者防災訓練との連動の成立性
- ② 訓練による能力向上の効果
- ③ 評価と検査の両立
- ④ 持続可能性

2. スケジュール

- 2023大飯防災訓練に併せて、B種シーケンス訓練の試行を行う。



○ 先行検討結果を踏まえ、次の訓練項目をB種シーケンス訓練として実施する。

(事業者防災訓練)

プラント事象のシナリオ進行

▼SBO発生

▼SFP水位低下

①SBO発生後の
複数の現場操
作指示【本部】

②緊対所電源車に
よる緊対所への
給電【現場】

③給油作業の指示
【本部】

⑤SFP給水方法
の指示【本部】

④給油作業(緊
対所電源車、空
冷DG)【現場】

⑥SFP給水作業(ポンプ車による
淡水タンクからの給水)【現場】

※:現場実動訓練の一部時間スキップがあるため、現場作業の完了報告は、本部役(コントローラー)へ報告。

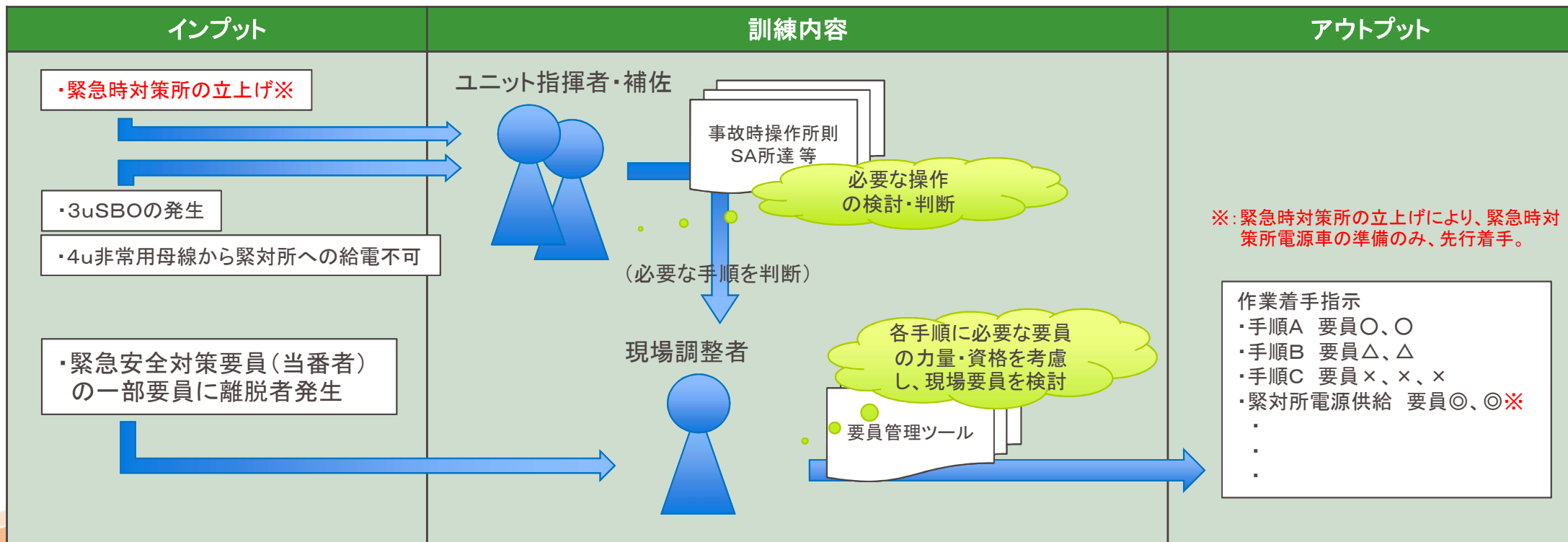
事業者防災訓練とB種シーケンス訓練を兼ねる範囲

(B種シーケンス訓練)

---> :原則として、前段の訓練項目におけるプレイヤーによる操作指示判断を受けた後に現場実動訓練を行うが、一定時間の経過後等、事業者防災訓練の進行や訓練統制に必要なタイミングで「指示実施」の情報付与を行う。

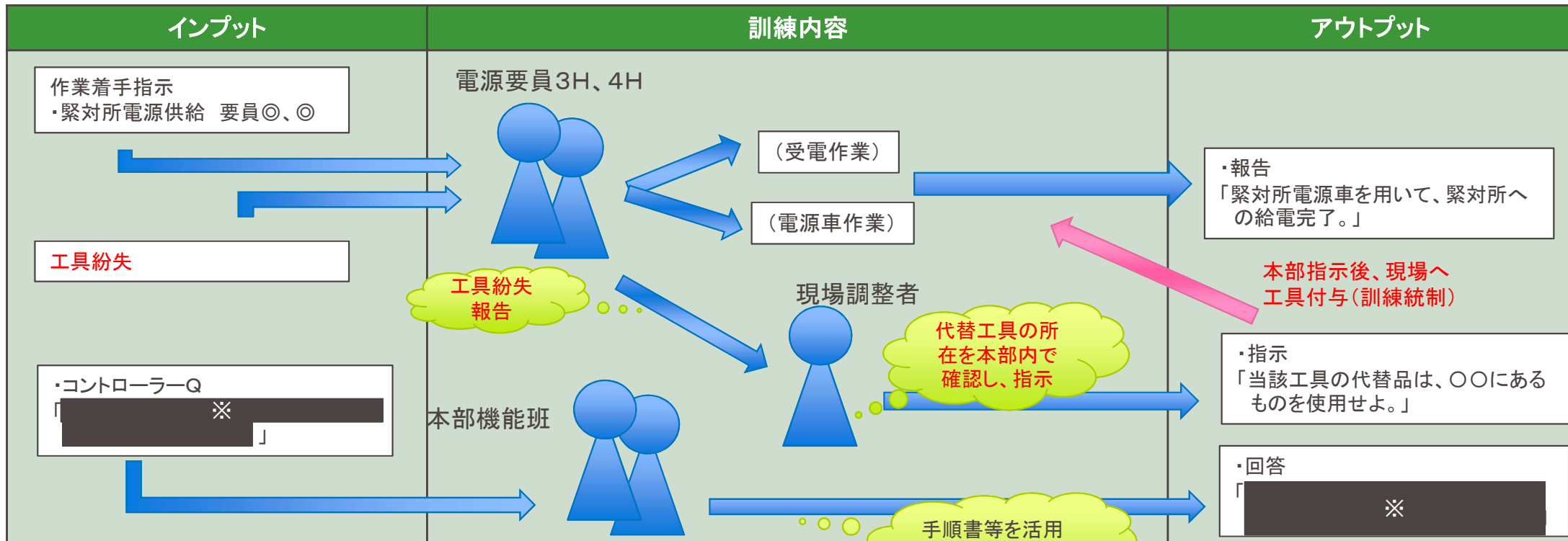
① SBO発生後の複数の現場操作指示

訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルチファンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
①SBO発生後の複数の現場操作指示	<ul style="list-style-type: none"> ・A種シーケンス訓練では、当番者による最速シナリオの活動であるため、リソース検討が不要であり、過去未実施項目。 ・実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発災で本部に要員が集まった後、SBO後の一連の現場操作の指示について、リソース検討も含めて、プレイヤーが実動する。【現場調整者】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本訓練項目は、本部活動を対象とし、現場作業の着手指示まで。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急安全対策要員の地震による負傷者を設定し、必要な力量・公的資格保有者の中から代替要員の確保を検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤーによる検討が一定時間経過後は、本部運営訓練側のシナリオと切り離して実施。 ・緊対所の実停電による影響(TV会議等の再接続)は、本部運営訓練と連動しない。



② 緊対所電源車による緊対所への給電

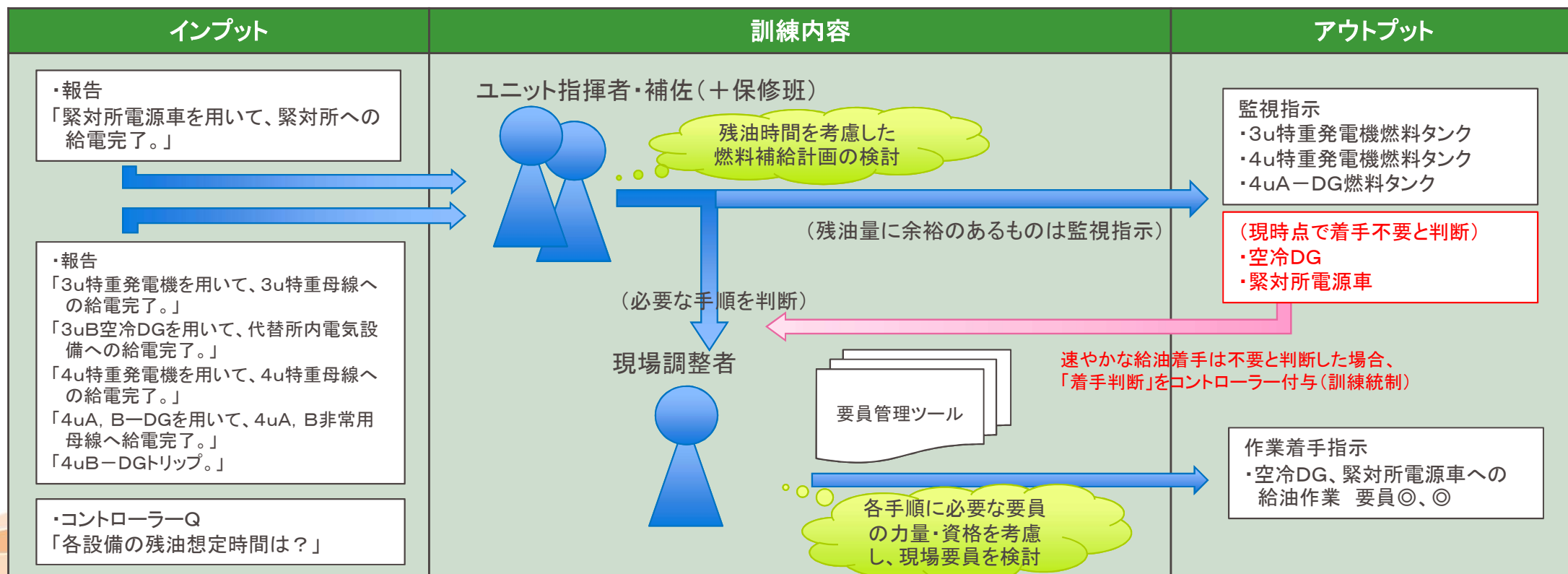
訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルファンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
② 緊対所電源車による緊対所への給電	<ul style="list-style-type: none"> A種シーケンス訓練では、緊対所電源車は訓練対象外である。 実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①の指示後、緊急安全対策要員が緊対所から電源車等へ移動し、起動操作を行う。【電源要員3H、4H】 	<ul style="list-style-type: none"> 本部からの指示／給電結果の報告で本部／現場間で実連携あり。 本部プレイヤーに対して、コントローラー付与のQAを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 工具紛失を付与し、現場／本部間で連携して代替手段を検討する。 想定Q([] ※ [])をコントローラーから付与し、本部要員、機能班に検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレイヤーによる操作が一定時間経過後は、本部運営訓練側のシナリオと切り離して実施。



※: プレイヤーへの事前開示不可

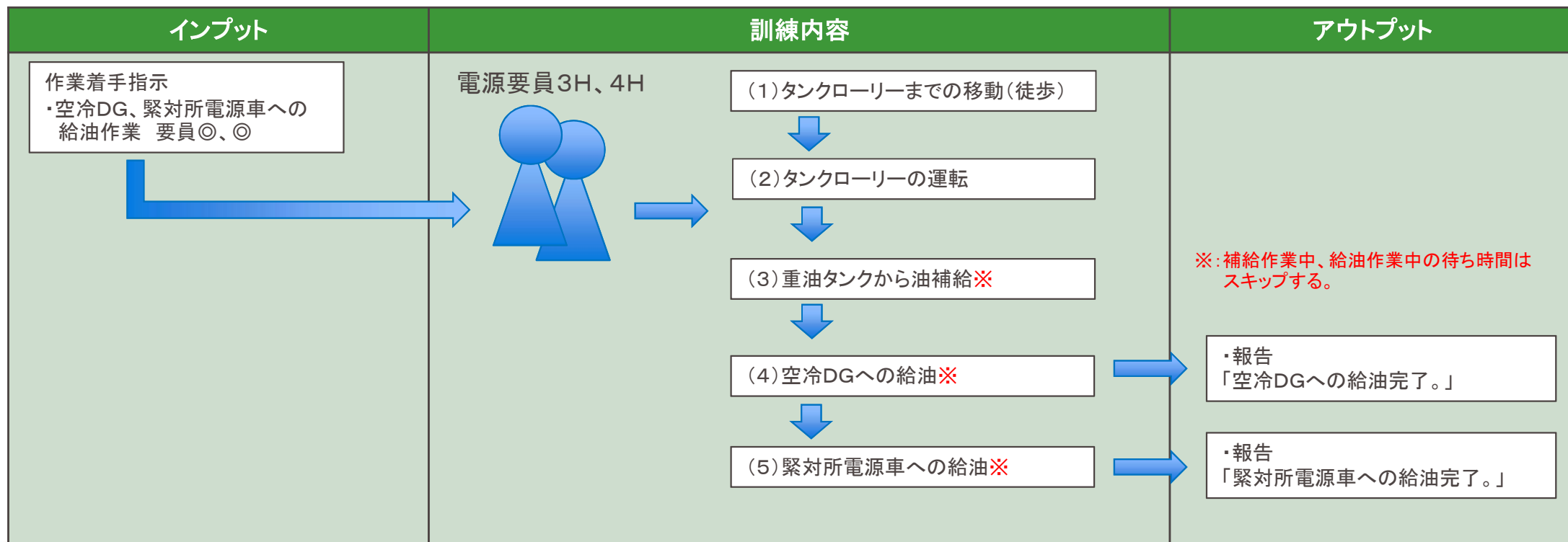
③ 給油作業の指示

訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルファンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
③給油作業の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・A種シーケンス訓練では、シナリオに沿った給油作業を指示するため、使用中設備、残油量に応じた検討は不要であり、過去未実施項目。 ・実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・②の完了後、その時点の燃料消費中の設備(空冷DG、緊対所電源車)の状況を踏まえて、本部にて給油の対象、優先順位、実施する作業者を指示する。【現場調整者等】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本訓練項目は、本部活動を対象とし、現場作業の着手指示まで。(以降は④訓練で対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定Q(各設備の残油想定時間)をコントローラから付与し、本部要員、機能班に検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤー検討が所定時間を超過した場合、または残油量を考慮し、空冷DG等へ速やかな給油は不要と判断した場合、訓練項目④との連携の観点で、着手判断を付与する。(訓練統制)



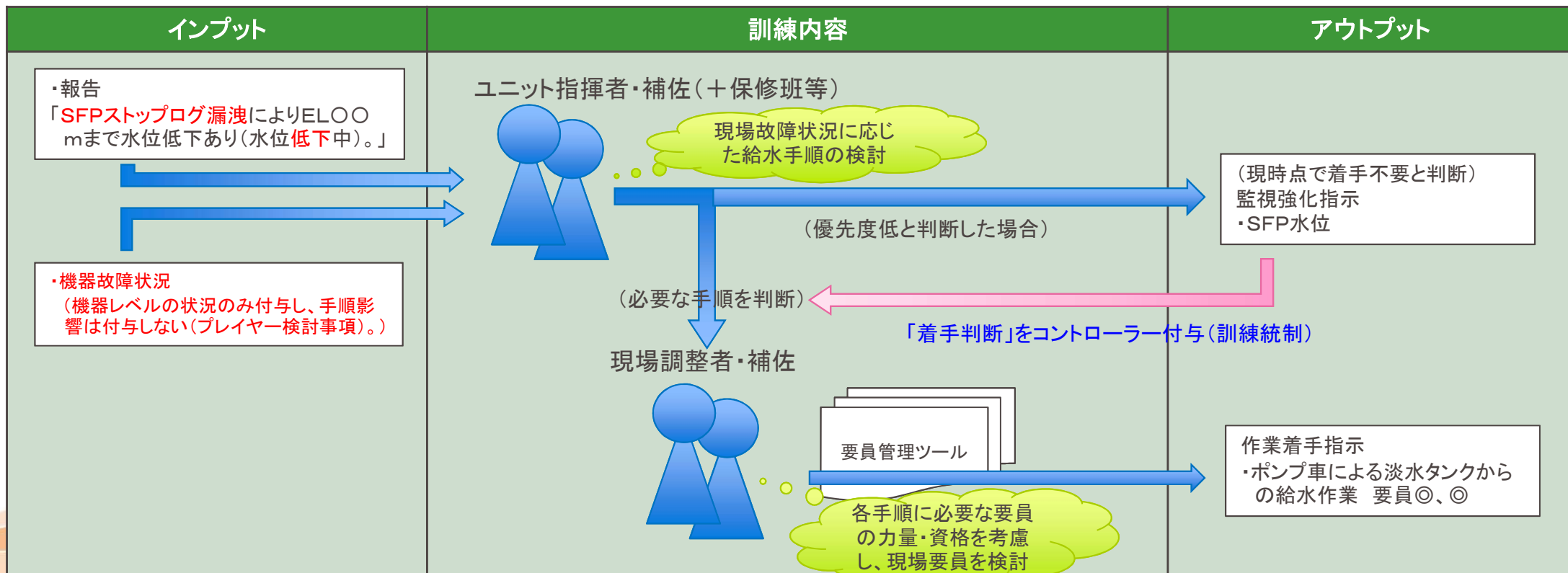
④ 給油作業(緊対所電源車、空冷DG)

訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルファンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
④給油作業(緊対所電源車、空冷DG)	<ul style="list-style-type: none"> ・A種シーケンス訓練では、緊対所電源車への給油は訓練対象外である。 ・実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③の完了後、緊急安全対策要員が緊対所から現場へ移動し、重油タンク→タンクローリー→緊対所電源車給油、空冷DG給油を行う。【電源要員3H、4H】 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部からの指示／給電結果の報告で本部／現場間で実連携あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マルファンクションなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場作業で一部時間スキップがあるため、完了報告は、本部運営訓練と連動しない。(本部役コントローラーへ報告)



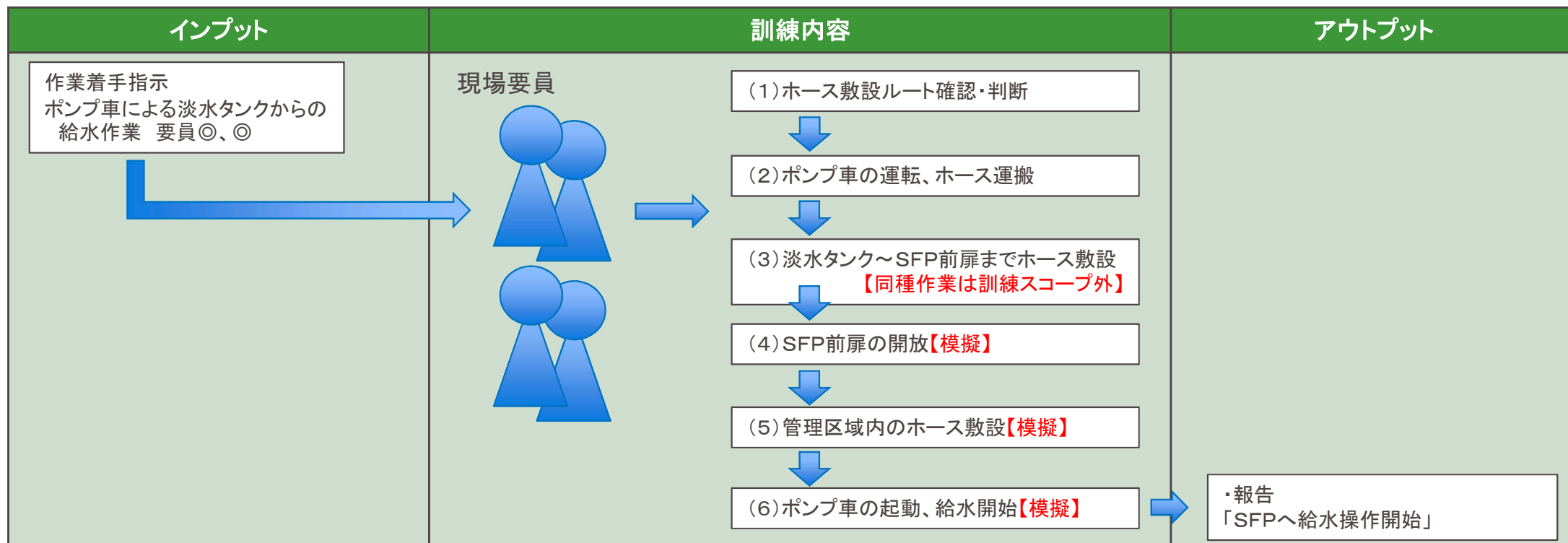
⑤ SFP給水方法の指示

訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルフアンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
⑤SFP給水方法の指示	<ul style="list-style-type: none"> A種シーケンス訓練では、多様性拡張設備の損傷を前提に、シナリオに沿った給水作業を指示するため、給水方法の検討は不要であり、過去未実施項目。 実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> スロッシングによるSFPの一時的な漏水(水位低下)の情報を付与し、給水作業の必要性を判断する。【ユニット指揮者】 本部プレイヤーによる現場確認指示に基づき、各設備の健全/故障状況をコンローラーが付与し、手順書に基づき給水手段、リソース、優先順位を検討・判断・指示する。【現場調整者等】 	<ul style="list-style-type: none"> 本訓練項目は、本部活動を対象とし、現場作業の着手指示まで。(以降は⑥訓練で対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 本部プレイヤーへ機器レベルでの設備故障状況の付与。 (この付与は、単純に「〇〇手順が使えません。」ではなく、「〇〇の弁が故障」等の細かい情報を付与し、プレイヤーにて手順への影響を判断する。) 	<ul style="list-style-type: none"> プレイヤーによる検討が一定時間経過後は、本部運営訓練側のシナリオと切り離して実施。 SFP水位低下が一過性のものであれば、温度上昇(沸騰による水位低下)までの時間余裕を確認し、着手優先度を下げる判断もあり得るため、その場合は「着手判断」をコンローラー付与する。



⑥SFP給水作業(ポンプ車による淡水タンクからの給水)

訓練項目	ねらい (能力向上)	訓練内容 (現場実動の範囲)	訓練内容 (本部との連携規模)	訓練内容 (マルファンクション等)	訓練内容 (本部運営訓練とのシナリオ連動有無)
⑥SFP給水作業 (ポンプ車による淡水タンクからの給水)	<ul style="list-style-type: none"> A種シーケンス訓練では、SFP給水作業(ポンプ車による淡水タンクからの給水)は訓練対象外である。 実施頻度の少ない訓練項目を行うことで、新たな気づきを得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤の完了後、緊急安全対策要員が緊対所から現場へ移動し、ポンプ車による淡水タンクからnSFPへの給水作業を行う。 なお、発電所構内を広範囲に使用したホース敷設となるため、ホース中継部分、管理区域内部分は原則模擬操作とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本部からの指示/給電結果の報告で本部/現場間で実連携あり。 	<ul style="list-style-type: none"> マルファンクションなし 	<ul style="list-style-type: none"> 本部運営訓練側が終了後、現場訓練は完了まで継続する。 その場合、現場からの完了報告は、本部役のコントローラーにて連携する。



○ 訓練評価方法（その1）

今回のB種シーケンス訓練の試行では、訓練の目的（新たな気づきを得ること）を踏まえ、プレイヤーの能力自体を評価することはせず、自己評価アンケート方式による気づき事項を評価・抽出する。

B種シーケンス訓練 自己評価アンケート【本部活動】

自己評価実施タイミング：□訓練前評価 ・ □訓練後評価

①所属・氏名		②訓練 機能班名	
③機能班として実施した活動（戦略検討、リソース検討 等）			
④実施した活動に対して、実発災を想定し、実効性の観点での評価 (5：十分実効性あり 3：一部不足し、手間取りはあるが実効性あり 1：全く実効性なし -：不明)			
項目毎の採点 5・3・1		理由等（良好事例も含む）	
体制			
マニュアル			
ツール ・資機材			
資料集			
⑤その他、本部内活動を実施する上で、気づき（良好事例、改善すべき点）、その原因等の自由記述			

【補足説明】

- ・今回の訓練は、能力向上に資する訓練として、新たな気づきを得ることを目的とした訓練です。
- ・そのため、参加者全員に、本アンケートを記入いただき、より具体的な気づき・改善すべき点・このような〇〇があった方が実効性を向上できる、、、等のご意見を頂きたく、ご協力お願いします。
- ・本自己評価は、「訓練前評価」「訓練後評価」の2回実施します。
- 「訓練前評価」とは、訓練スコープの事前説明結果を踏まえ、各自で手順書等を確認した事前学習段階での気づき事項を記入。
- 「訓練後評価」とは、事前学習で習熟度を上げた状態での訓練（検証）後の気づき事項を記入。

B種シーケンス訓練 自己評価アンケート【現場活動】

自己評価実施タイミング：□訓練前評価 ・ □訓練後評価

①所属・氏名		②緊急安全対策要員名	
③緊急安全対策要員として実施した活動			
④実施した活動に対して、実発災を想定し、実効性の観点での評価 (5：十分実効性あり 3：一部不足し、手間取りはあるが実効性あり 1：全く実効性なし -：不明)			
項目毎の採点 5・3・1		理由等（良好事例も含む）	
体制			
マニュアル			
ツール ・資機材			
⑤その他、本部内活動を実施する上で、気づき（良好事例、改善すべき点）、その原因等の自由記述			

【補足説明】

- ・今回の訓練は、能力向上に資する訓練として、新たな気づきを得ることを目的とした訓練です。
- ・そのため、参加者全員に、本アンケートを記入いただき、より具体的な気づき・改善すべき点・このような〇〇があった方が実効性を向上できる、、、等のご意見を頂きたく、ご協力お願いします。
- ・本自己評価は、「訓練前評価」「訓練後評価」の2回実施します。
- 「訓練前評価」とは、訓練スコープの事前説明結果を踏まえ、各自で手順書等を確認した事前学習段階での気づき事項を記入。
- 「訓練後評価」とは、事前学習で習熟度を上げた状態での訓練（検証）後の気づき事項を記入。

○ 訓練評価方法の検討（その2）

前述の自己評価アンケートだけでは、あるべき姿が不明確となるため、訓練課題WGにて試行中の「発電所の意思決定および現場活動に関する評価指標」を参考に評価する。

なお、気づき事項の分析の観点で、現場作業の主要工程の時間を記録する。（注：プレイヤーの力量の合否判定を意図したものではない。）

①現場指揮者の総率チェックシート【対象者：現場指揮者】						【指標7-②】	
訓練実施日：						現場調整者	
訓練対象班：現場調整者						評価者：	
チェック対象外	No	カテゴリー	チェック項目	採点 (全50点)	チェック (全12項目)	コメント	
I. 現場指揮者に関するチェック項目（20点）				良・可・不可	良・可の場合 チェック		
<input type="checkbox"/>	1	役割分担	各要員の配置、役割分担を要員に説明できた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	2	体調管理	現場要員の体調確認・点呼（安否確認含む）を実施できた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>		
<input checked="" type="checkbox"/>	3	リスク抽出	現場のリスクを抽出し、現場要員に注意喚起や情報共有を実施できた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input checked="" type="checkbox"/>	4	設備健全性確認	設備健全性確認の指示を行い、設備状況を確認・共有できた。 (緊对本部 ⇄ リーダー ⇄ 現場要員)	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input checked="" type="checkbox"/>	5	資機材状況確認	必要な資機材の準備指示を行い、資機材状況を確認・共有できた。 (緊对本部 ⇄ リーダー ⇄ 現場要員)	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input checked="" type="checkbox"/>	6	声の大きさ	全員に聞こえる声で、簡潔な指示が出せた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input type="checkbox"/>	7	情報連携	緊对本部の情報※1および復旧現場の情報※2をそれぞれ共有できた。 (緊对本部の情報は現場、復旧現場の情報は緊対に共有)	2・1・0	<input type="checkbox"/>		
<input checked="" type="checkbox"/>	8	コミュニケーション	適宜ブリーフィングを行い、状況確認および認識統一を図れた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input checked="" type="checkbox"/>	9	ヒューマンパフォーマンスツール	ヒューマンパフォーマンスツール※3を活用できた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
<input type="checkbox"/>	10	防護装備	本部からの指示や情報を基に、適切な放射線防護装備（GB、APD含む）や安全保護具※4の着用指示を行えた。	2・1・0	<input type="checkbox"/>		
採点				点	8	個	
II. 手順の順守に関するチェック項目（15点）				手順に抜けがあった場合 0点	10点以上の場合 チェック		
<input checked="" type="checkbox"/>	11	手順順守	作業が抜けなく実施できていることを確認できた。 ※5	/ 15	<input type="checkbox"/>	現場調整者への期待事項ではない	
採点				点	1	個	
III. 作業完了時間に関するチェック項目（15点）				作業完了超過時間により、点数が変動※7	5点以上の場合 チェック		
<input checked="" type="checkbox"/>	12	作業時間	作業全体の進捗を把握し、目標時間内※6に作業完了できた。	/ 15	<input type="checkbox"/>	実発災時には目標時間を定めていない	
採点				点	個		
総合点				点	個		

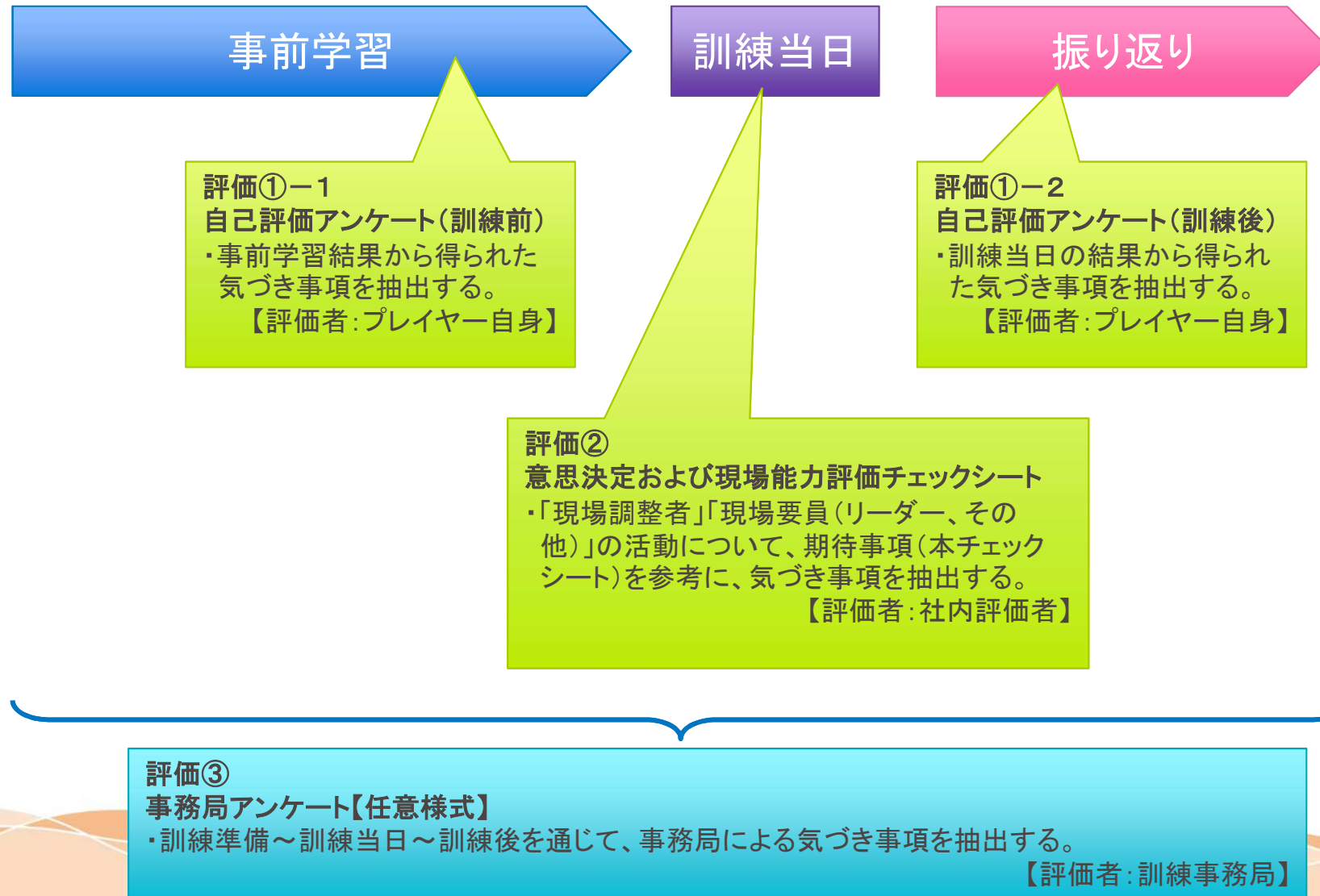
【対象者：現場指揮者】				【指標7-②】	
【現場要員（リーダー）】				評価者：	
採点 (全50点)	チェック (全12項目)	コメント			
良・可・不可	良・可の場合 チェック				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>	今回訓練では、緊対所にて完了			
2・1・0	<input type="checkbox"/>	現場リーダーへの期待事項ではない			
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>	今回訓練では、緊対所にて完了			
点	個				
手順に抜けがあった場合 0点	10点以上の場合 チェック				
/ 15	<input type="checkbox"/>				
点	個				
作業完了超過時間により、 点数が変動※7	5点以上の場合 チェック				
/ 15	<input type="checkbox"/>	実発災時には目標時間を定めていない			
点	個				
点	個				
採点	点	個			
総合点	点	個			

チェックシート【対象者：現場要員】				【指標7-③】	
班：現場要員				評価者：	
採点 (全50点)	チェック (全12項目)	コメント			
良・可・不可	良・可の場合 チェック				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>	共有できた。（リー			
2・1・0	<input type="checkbox"/>	を確認・共有できた。			
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
4・2・0	<input type="checkbox"/>	今回訓練では防護装備なし			
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
2・1・0	<input type="checkbox"/>				
点	7	個			
手順に抜けがあった場合 0点	10点以上の場合 チェック				
/ 15	<input type="checkbox"/>	※2			
点	1	個			
作業完了超過時間により、 点数が変動※4	5点以上の場合 チェック				
/ 15	<input type="checkbox"/>	実発災時には目標時間を定めていない			
点	個				
作業完了超過時間により、 点数が変動※4	5点以上の場合 チェック				
/ 15	<input type="checkbox"/>	実発災時には目標時間を定めていない			
点	個				
採点	点	個			
総合点	点	個			

○ 訓練評価方法（まとめ）

訓練目的の「新たな気づきを得ること」に即した評価方法として、次の評価方法で実施する。

▽ 訓練説明会（訓練スコープ、訓練概要、評価チェックシート等）



○ 試行の検証方法

今回の訓練試行の検証のため、下記の4つの検証項目に対して、検証の視点／検証方法を予め明確化する。

試行の検証項目	検証の視点	検証方法
① 事業者防災訓練との連動の成立性	・B種シーケンス訓練に必要な訓練シナリオについて、事業者防災訓練の訓練目的を阻害しないか。	・事務局による事後分析
	・B種シーケンス訓練に必要な訓練統制について、事業者防災訓練の訓練目的を阻害しないか。	・事務局による事後分析
	・B種シーケンス訓練／事業者防災訓練の現場実動訓練(指標7)との兼用の可否。 (訓練スコープの事前開示に対する、事業者防災訓練の評価への影響)	・事務局、NRA間の事前確認【済】 →防災訓練指標では、シナリオ非開示訓練は参考指標扱い。訓練目的に応じてシナリオの開示の有無は許容される。
	・B種シーケンス訓練および事業者防災訓練の同時実施にあたって、訓練プレイヤー数、訓練コントローラー数は、発電所運営上、支障のない人数で収まったか。	・事務局による事後分析
② 訓練による能力向上の効果	・訓練により得られた気づき(良好事例、課題含む)の数	・アンケート(プレイヤー、コントローラー向け)
	・訓練により得られた気づき(良好事例、課題含む)は、過去の訓練項目では得られにくいものか。	・事務局による事後分析
③ 評価と検査の両立	<NRA側での検討事項>	<NRA側での検討事項>
④ 持続可能性	・B種シーケンス訓練の準備に必要な工数 (シナリオ検討、訓練項目検討、評価方法検討、訓練準備、訓練評価 等)	・事務局による事後分析
	・次回を想定し、今回の訓練項目、過去のSA訓練と異なる訓練項目は設定できるか?	・事務局による事後分析

○ 試行後の継続検討事項

B種シーケンス訓練は、訓練の目的を「新たな気づきを得ること」とし、訓練の内容、方法は中期計画に基づき任意に設定することとするが、どのような訓練設定がより良い訓練となるか、継続的に改善していく必要があるため、検討状況を以下に示す。

継続検討事項	検討内容	2023年度試行訓練でのやり方
A. 評価のやり方	<ul style="list-style-type: none"> ・B種シーケンス訓練は、「新たな気づきを得ること」を目的としており、訓練当日における訓練プレイヤーのパフォーマンス(能力)自体は、評価の対象外と考えている。※1 ※1: 訓練当日のプレイヤーのパフォーマンス(能力)を評価した場合、「失敗できない訓練」となり、得られる気づきが偏重していくことを懸念するため。 ・そのため、2023年度の訓練試行では「自己評価アンケート」および「評価者による気づき」形式とし、合否判定を目的とした時間測定(評価)は実施しない。 ・気づき事項に対する「分析のための時間測定(記録)」として、作業の開始/終了等の時間を訓練記録として採取する。なお、本記録は、合否判定を目的とするものではないため、A種シーケンス訓練のような精緻な時間測定、模擬操作に対するウェイトタイムは不要とする。 ・本年度の試行においても、訓練評価のやり方を検証した上、評価方法毎の利点、効率性を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価アンケートによる気づき抽出 ・評価者による気づき抽出 ・事務局による気づき抽出 ・あるべき姿の認識統一を図るため、「発電所の意思決定および現場活動に関する評価指標」を参考に提示。
B. シナリオ等事前開示の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・シナリオ等(訓練スコープ、シナリオ、マルファンクション)の事前開示については、メリット/デメリットの双方があるものの、「新たな気づきを得ること」の目的に照らした場合、シナリオ等を事前に把握した状態での事前検討から得られる気づき※2、事前検討を踏まえた訓練当日に実動・実連携を行った場合の気付き等、1回の訓練で多様な気づきを得やすいといった、シナリオ等の事前開示によるメリットがあると考えている。 ※2: 自己評価アンケートにより、事前検討段階の気づきも抽出する。 ・開示の範囲について「訓練スコープ」、「シナリオ」、「マルファンクション」のどこまでを事前の開示範囲とするか、これも中期計画に基づく訓練の目標に対する訓練計画として、任意に設定する。 ・本年度の試行においても、シナリオ等の事前開示の有無を検証した上、メリット/デメリットを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練スコープ: 事前開示あり ・シナリオ: 事前開示なし ・マルファンクション: 事前開示なし※ ※: マルファンクションは、基本的には事前開示なしとするが、訓練スコープの事前説明として適切な範囲は開示する。 (コントローラー付与の想定Qについては、事前開示あり/事前開示なしの想定Qを各々準備し、メリット/デメリットを検証する。)
C. 訓練項目数	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練項目数の設定についても、「新たな気づきを得ること」の目的に適切な数を中期計画に基づく訓練目標を踏まえ、任意に設定する。 ・2023年度の試行では6項目(本部活動3、現場活動3)に対して、訓練内容、評価方法を予め定め、その結果として得られた気づき事項を踏まえ、今後のB種シーケンス訓練の設計に活かしていく。 	<p>P3～p9の6項目を実施。</p>